

人工気象室

機能・仕組み

気温や光強度などを精密にコントロールする部屋です。

ヒーター、冷凍機、照明などをコンピュータ制御して、室内を設定した気象条件に調整します。



主な使用目的

気温や光強度を変化させることによって茶葉内のテアニンなど機能性成分含量が最大となる条件を探索し、品種特性の把握や被覆資材の開発、被覆期間の最適化などに活用します。一年を通じて試験を行うことができるため、育種や技術開発に係る年限の短縮が可能となります。